

北海道十勝管内における熊被害の議論と情報発信の特徴 —広報紙と議会会議録の比較分析—

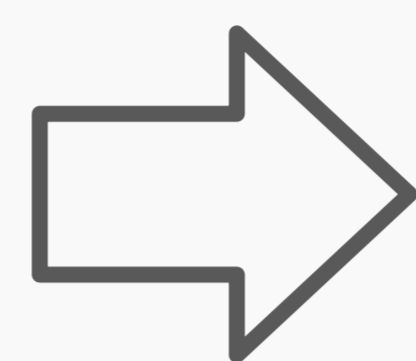
工藤光瑠・蛇谷祐人・木村泰知 (小樽商科大学)・河野洋一 (帯広畜産大学)

背景・目的

農業や畜産業が盛んな十勝地方

- ・ 鳥獣被害 に対する関心が高い
- ・ 最近の 熊被害増加 と 社会的関心の高まり

→ この課題に対して自治体はどのような情報提供を行っているのか



自治体の情報発信の特徴を掴む

- ・ 議会会議録と広報紙の役割の違いを明示する
- ・ 議会会議録と広報紙の繋がりを明らかにする
- ・ 熊関心増加による議会と広報の変化を捉える

どのように議論し、どのように住民に周知しているのか

議会会議録(PDF)

◎日程第6 村政に関する一般質問 (中略)

○6番荻原議員

ただいま議長の許可をいただきましたので、通告書に基づき、ヒグマから住民を守るための対策等について村長に質問をしたいと思います。…

マイ広報紙(Web)

ヒグマによる被害を防ぐために

発行日：2025年8月10日

自治体名：北海道更別村

広報紙名：広報さらべつ 令和7年8月号

ヒグマの活動が活発化しており、道内全域においてヒグマの出没が相次いでいます。…

どのくらい関心が高いか

どうしんDB(Web)

熊 OR ヒグマ OR クマ



検索結果：289件 1件～20件

- 軽乗用車とクマ衝突*けが人なし
- 陸別の町道でクマ1頭目撃 *銀河の森管理棟近く

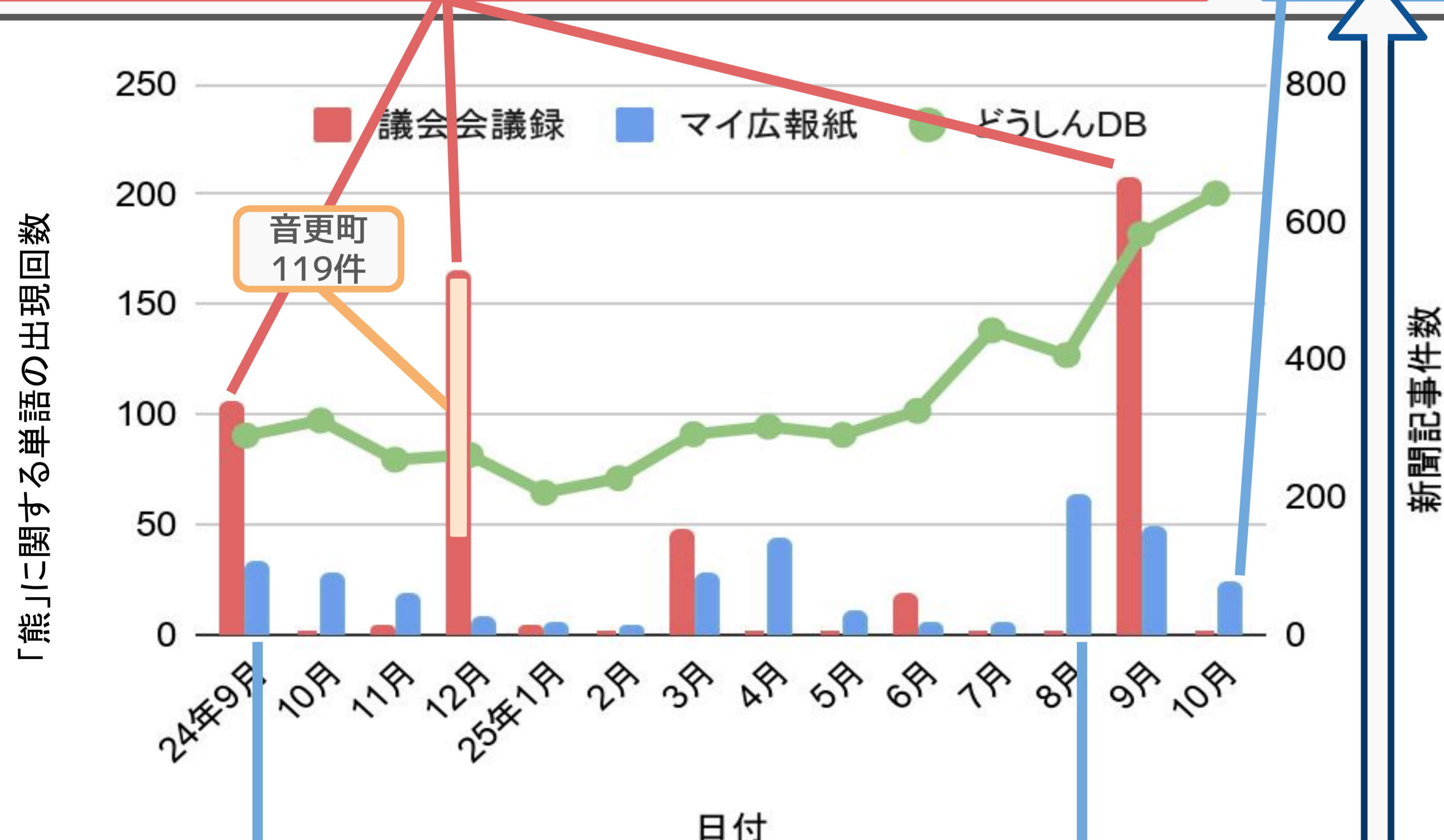
2024年9月から2025年10月までのデータを 収集・構造化

「熊」「ヒグマ」「クマ」を含む 発言・広報紙記事 を抽出し、新聞記事タイトル を収集

- 足寄町 熊よけスプレー購入補助の是非
- 音更町 猟友会との連携と春季管理捕獲の実施
- 鹿追町 ハンター報酬の見直しと専門職としてのハンター雇用
- 更別村 出没情報の地図アプリ即時公開の是非
- 大樹町 AI・新技術の導入

- 2025年10月 大樹町では 有害鳥獣対策実施隊 を編成し、(中略) 28頭のヒグマ を駆除しました。
- 2025年10月 更別村ふるさと館敷地内にヒグマが逃げたと想定した 緊急銃猟訓練 が行われました。

一部の自治体で、注意喚起以外の発信も確認された



- 議会は3月/9月/12月に集中 定例会開催と連動
- 広報紙は春・秋の季節 ヒグマ注意特別期間と対応している
- 25年7月～9月に新聞急増 社会的関心の高まり

議会会議録

- ・ 熊よけスプレーや出没情報地図アプリなど 住民の 安全性向上 に向けた議論
- ・ 猟友会との連携や専門のハンター雇用など 熊の 危険性排除 に向けた議論

広報紙

- ・ 熊との遭遇を回避するための対策など 住民の 安全性向上 に向けた注意喚起
- ・ 駆除件数 や 具体的な取り組み の周知

両者の関係

議会会議録と広報紙には明確な役割があり、両者は独立していて互いに影響を及ぼさない

2024年9月 野山に入るときは「1人で入らず、音を出しながら歩く」

音更町 具体化

2025年8月 クマ鈴などの音の出るものを身につけたり、(中略) 2人以上でおしゃべりするなど、人間の存在を知らせましょう。